

[7811・東証2部]

中本パックス株式会社 2017年2月期第2四半期 決算説明会

ver. 20161026

代表取締役社長 中本 高志

 中本パックス株式会社

1	会社概要	・ ・ ・	P.3
2	当社の特長	・ ・ ・	P.9
3	2017年2月期第2四半期 決算概要	・ ・ ・	P.16
4	2017年2月期 業績見通し	・ ・ ・	P.26
5	ご参考	・ ・ ・	P.30

会社概要

グラビア印刷技術を核に成長していく

商号	中本パックス株式会社 (NAKAMOTO PACKS CO.,LTD.)		
所在地	大阪市天王寺区空堀町2番8号		
代表者	中本 高志		
設立	1950年10月		
資本金	1,057百万円 (2016年8月末)		
事業内容	印刷加工 (グラビア印刷)、ラミネート加工 (ドライラミネート)、コーティング加工及び成型加工による製品の販売		
従業員数	498名(単体)、861名(連結) (2016年8月末現在)		
グループ会社	連結子会社 11社 (国内7社、国外4社) 持分法適用関連会社 1社		
業績 (連結)	売上高	:	30,413百万円
	営業利益	:	1,100百万円
	経常利益	:	1,167百万円
	当期純利益	:	691百万円 (2016年2月期)

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン&セイフティ～”

社是

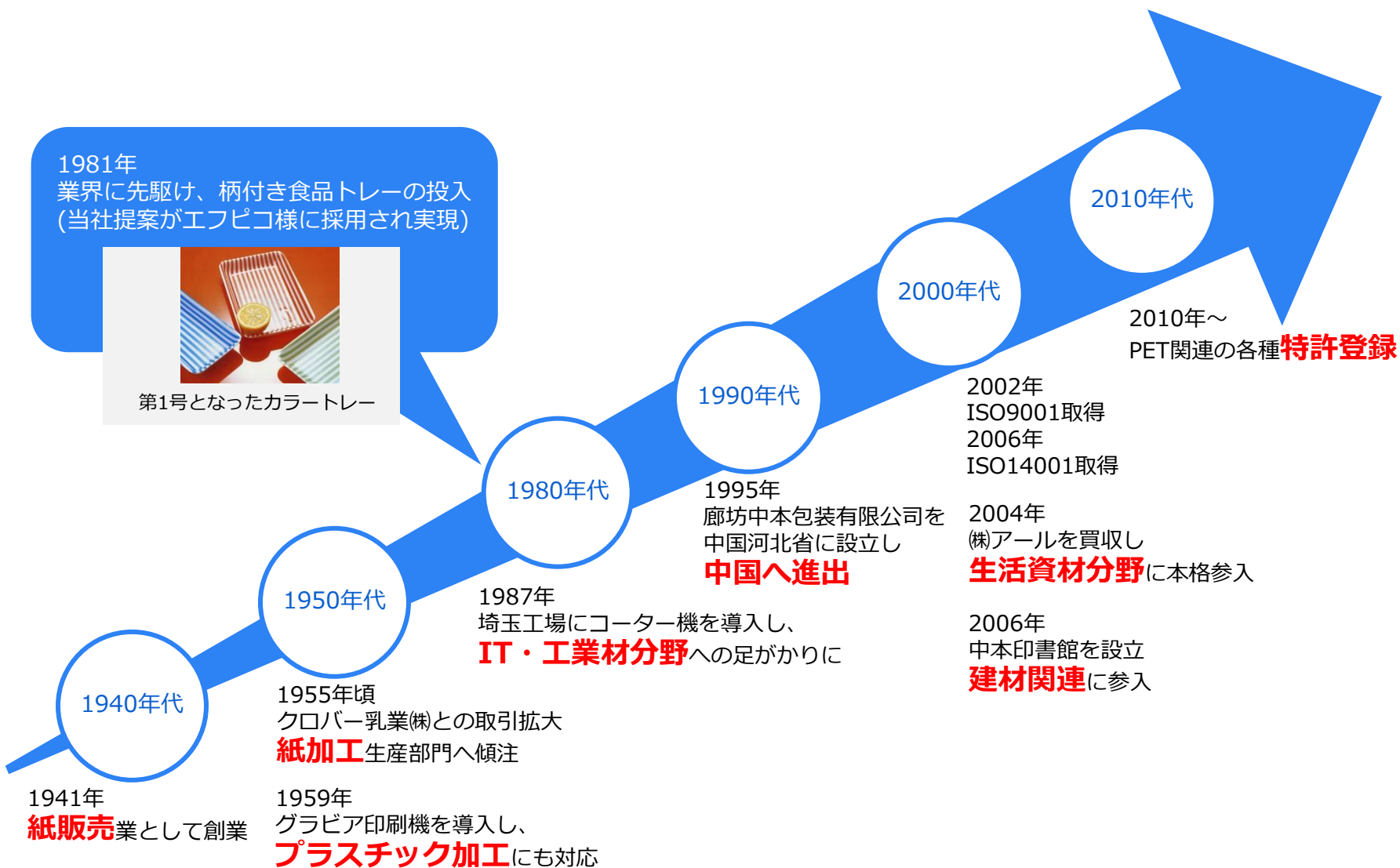
「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

- 「誠実と誠意で信用を高めよう」
- 「忍耐を以って創意工夫をしよう」
- 「自己を啓発し協調精神を養おう」
- 「共存共栄を計り社会に貢献しよう」
- 「技術向上と力闘精神を発揮しよう」
- 「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

- 「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」
- 「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」
- 「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」
- 「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」
- 「私達は感動される仕事とシステムを通じより多くの固定ファンをつくります」
- 「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」



主要生産拠点：国内9工場、海外3工場

主要営業拠点：国内4ヶ所、海外1ヶ所

【国内事業拠点】



【グローバル事業拠点】

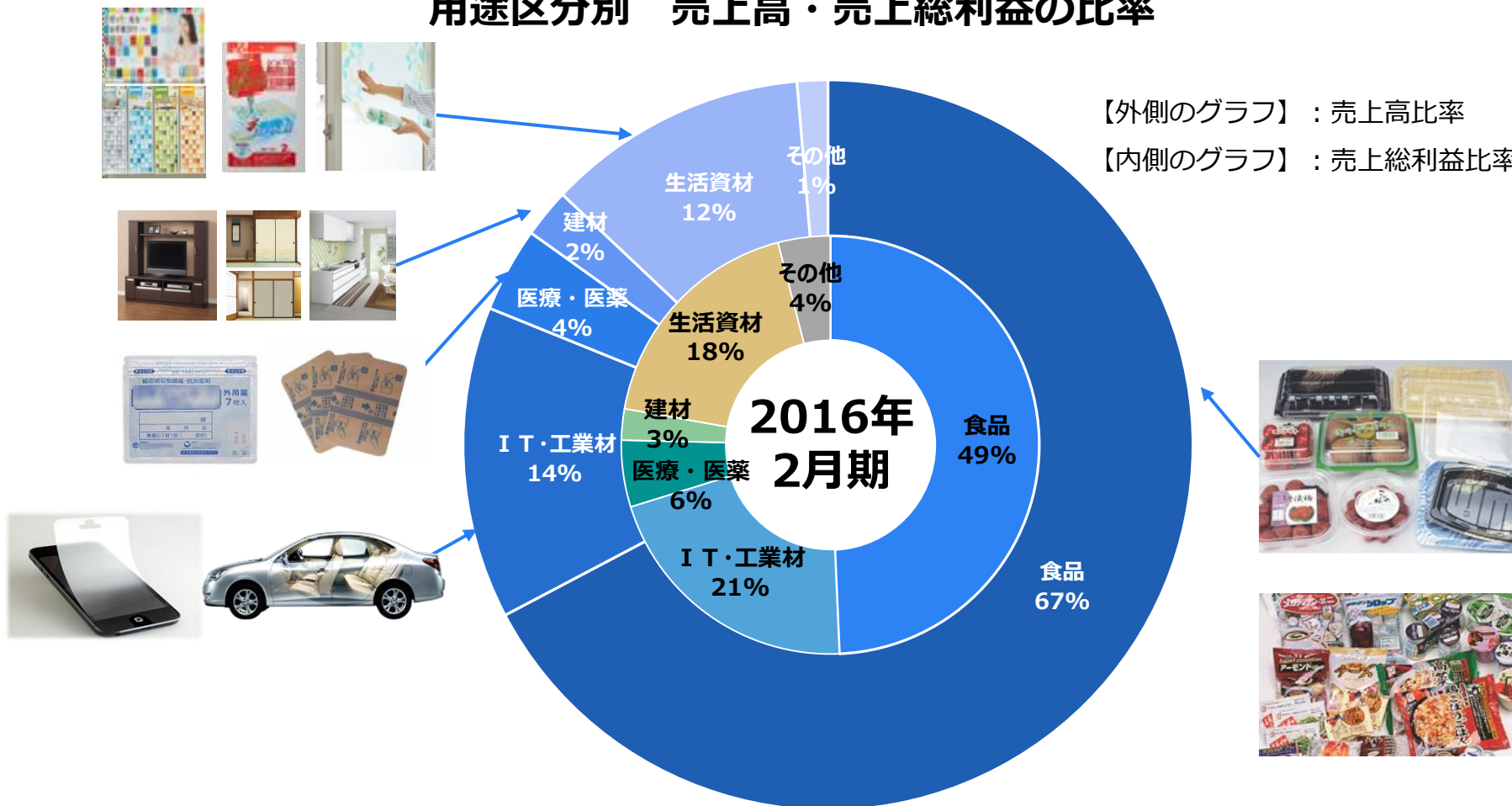


全天候型グローバル企業を目指し
 グラビア印刷技術等のコア技術をベースに用途の拡大を図る

用途区分別 売上高・売上総利益の比率

【外側のグラフ】：売上高比率

【内側のグラフ】：売上総利益比率

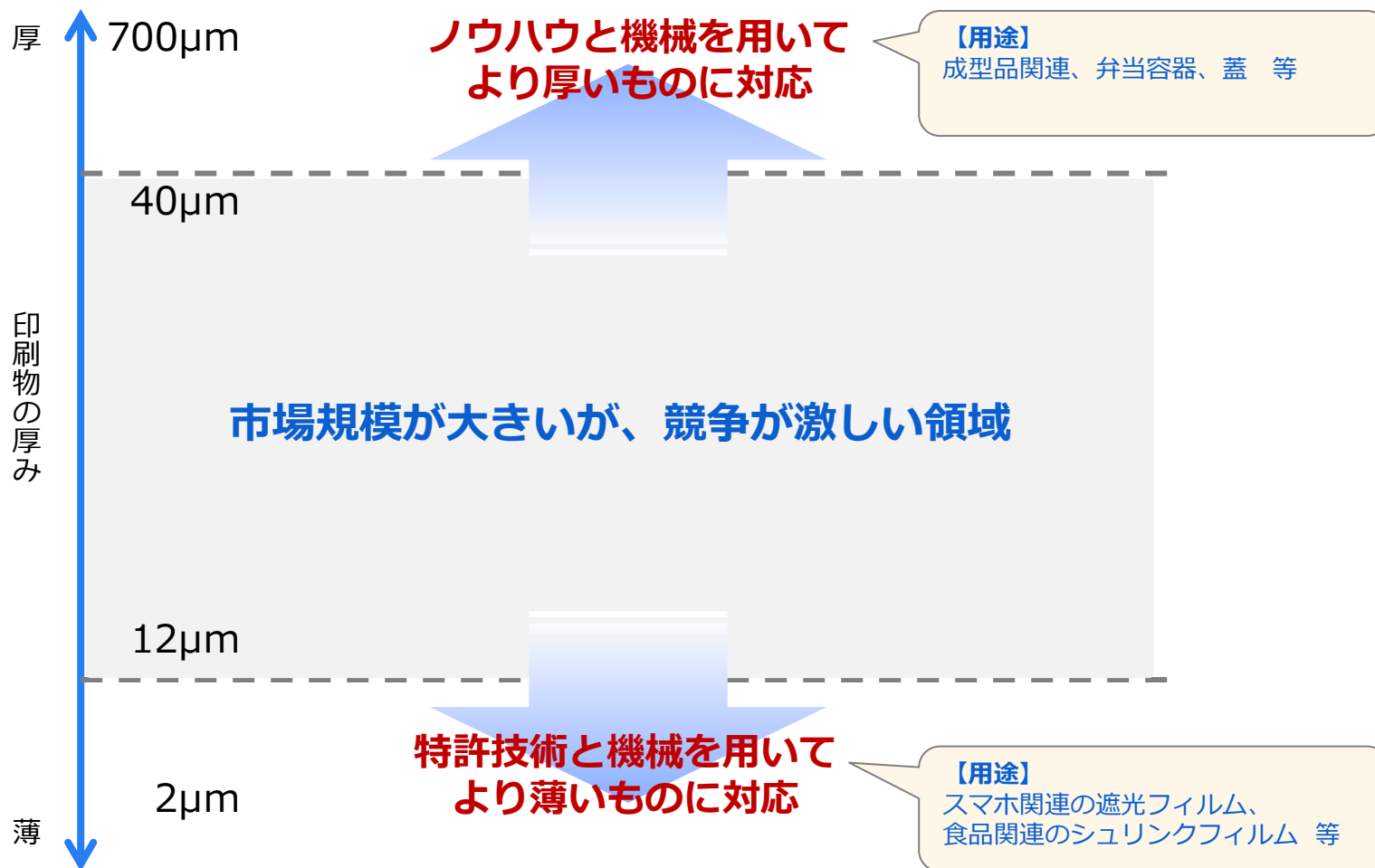


当社の特長

4つのコア技術が様々な用途への展開を可能としている

<p>グラビア印刷技術 極薄フィルムから シートダイレクトまで</p>	<p>コーティング加工技術 薄膜から 厚塗り加工まで</p>	<p>ラミネート加工技術 幅広い用途に 対応可能</p>	<p>素材開発技術 リサイクル可能なPETに 豊富な特許を保有</p>
<p>食品関連</p>			
<p>IT・工業材関連</p>			
<p>医療・医薬関連</p>			
<p>建材関連</p>			
<p>生活資材関連</p>			

技術を磨き、競合が比較的少ない厚さ領域での展開を強化



徹底したクリーン環境で、高品質の特殊コーティング加工を実現

当社業務工程(イメージ)



クリーン度：クラス10,000

徹底したクリーン環境を実現した
製造ラインにて一貫生産

電子部材・メディカル・光学用部材等
各種高品位ニーズに対応

食の安全への意識の高まりにより
食品包装材印刷にも展開



◀ N S セパ

事業分野	主な用途
IT・工業材関連	・シリコン塗布によるセパレーターフィルムがスマートフォン・液晶ディスプレイ等の生産に用いられている
医療・医薬関連	・シリコン塗布によるセパレーターフィルムが湿布剤に使用されている



高いクリーン環境を標準化し
更なる用途拡大を目指す

特許技術を用いたサーマルラミネート装置により、環境負荷低減（減量化・無臭化）

サーマルラミネートによる加工



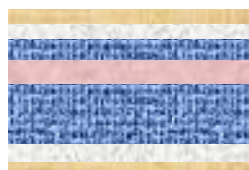
▲ヘッドライニング



ヘッドライニング
(接着性特殊三層フィルム)

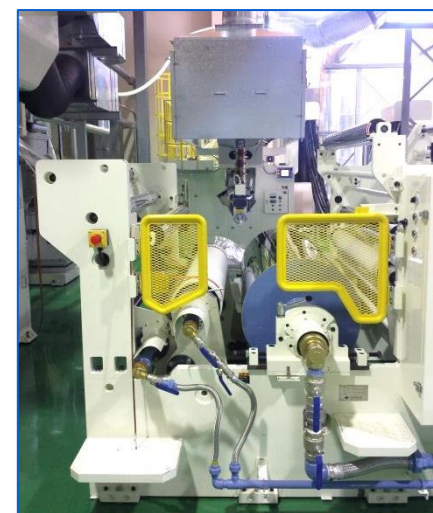
不織布
 接着フィルム
 ガラス繊維
 発砲ウレタン
 ガラス+オレフィンシート
 接着フィルム
 素材(フェンテ/接着/ニードル)

▲ダッシュサイレンサー



※同じPP樹脂を接着するため、接着材が不要となる

押し出しラミネート



▲押し出しラミネーター機

■押し出しラミネーター機の概要（竜ヶ崎第二工場）

用途	自社開発品(HS-PET)製造専用機
生産能力	300トン/月
売上高目標	12億円
販売戦略	・コンビニテイクアウト用総菜袋 ・電子レンジ対応容器 等

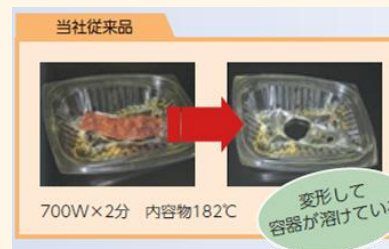
- 樹脂容器の製造方法 (出願中)
- 低張力フィルムの加工方法 (第4981428号)
- レトルト食品容器の製造方法 (第4871745号)
- 耐熱透明A-PET容器 (第5070192号)
- 耐熱透明A-PET容器 (第5166114号)
- 耐熱透明A-PET容器並びにその製造方法 (第5021586号)
- シュリンクラベル用筒状体の製造方法 (第5143614号)
- ポリエステルの溶融反応重合装置及び重合方法 (出願中)
- 電子部品包装用導電性材料 (第4520439号)
- サーマルラミネート装置 (第5004364号)
- 紙容器用積層材及びそれを用いた紙容器 (第5180272号)
- 塗布液剤の乾燥方法及び装置(第4851584号)
- 耐熱透明容器 (出願中)
- 成型品の製造方法 (出願中)
- 耐熱食品容器及びその製造方法 (出願中)
- 耐熱食品容器及びその製造方法 (PTC国際出願中)
- 耐熱食品容器及びその製造方法 (出願中)

**エコ、省資源化が求められる食品包装材のマーケットに対応すべく
リサイクル可能なPET素材の特許技術を用いた高機能商品を投入**

特許技術を用いて高機能化に対応

NAK-A-PET

- 特徴
- ① 薄肉化により省資源化
 - ② 電子レンジ使用でも変形を起こさない（70～125℃）
 - ③ リサイクル可能な素材、環境及び食品衛生等に配慮した設計
- 用途
- 主に耐熱容器の蓋材や農産物、菓子のトレー



NC-PET

- 特徴
- ① 高温での調理が可能、耐寒強度も強く、高剛性、軽量化も可
 - ② 特に耐熱性に優れていることから（当社テストでは190℃）、風味の向上、食品衛生上の安全性を確保へ
- 用途
- 主にグラタン等の焼成メニューや機内食などの容器



HS-PET

- 特徴
- ① ヒートシール性が良好（約120℃）
 - ② 保香性: コーヒー等香りの強いものをバリア
 - ③ 耐熱性: 電子レンジ対応
- 用途
- 主に揚げ物惣菜のテイクアウト用袋



2017年2月期第2四半期 決算概要

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2016.2期 2Q累計* 実績	2017.2期2Q累計					
		実績	前年同期比		計画 (7/15公表)	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	15,392 (100.0%)	15,544 (100.0%)	+151	+1.0%	15,300 (100.0%)	+243	+1.6%
食品関連	10,332 (67.1%)	10,597 (68.2%)	+265	+2.6%	10,287 (67.2%)	+310	+3.0%
IT・工業材関連	2,147 (14.0%)	2,097 (13.5%)	▲49	▲2.3%	2,104 (13.8%)	▲6	▲0.3%
医療・医薬関連	577 (3.8%)	668 (4.3%)	+91	+15.8%	665 (4.4%)	+2	+0.4%
建材関連	312 (2.0%)	303 (2.0%)	▲9	▲2.9%	305 (2.0%)	▲1	▲0.5%
生活資材関連	1,773 (11.5%)	1,659 (10.7%)	▲113	▲6.4%	1,709 (11.2%)	▲50	▲3.0%
その他	249 (1.6%)	217 (1.4%)	▲32	▲13.0%	228 (1.5%)	▲11	▲4.9%

* : 2016.2期2Q累計は参考値

(連結)

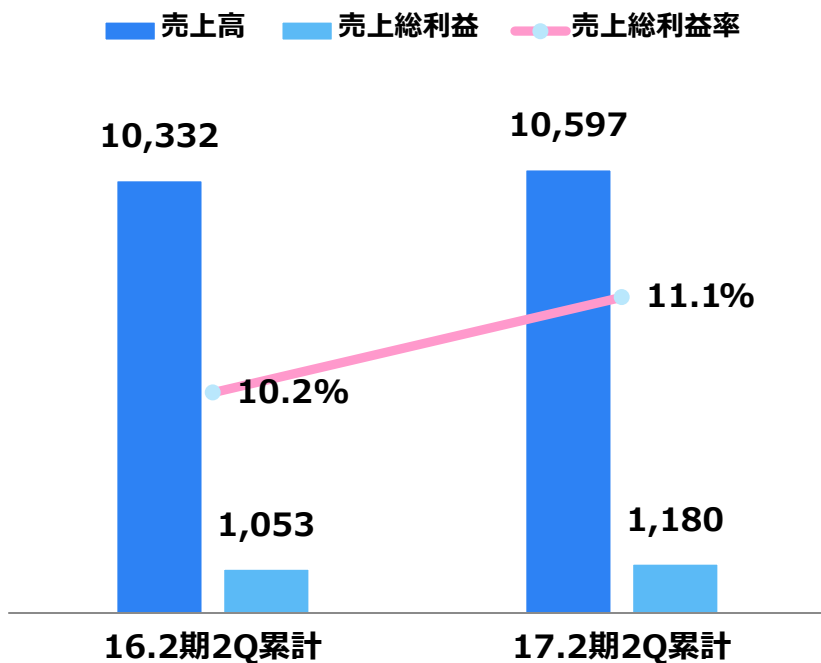
(単位：百万円、下段は構成比)

	2016.2期 2Q累計*1 実績	2017.2期2Q累計					
		実績	前年同期比		計画 (7/15公表)	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上総利益	2,138 (13.9%)	2,474 (15.9%)	+336	+15.7%	2,424 (15.8%)	+50	+2.1%
販管費	1,659 (10.8%)	1,659 (10.7%)	▲0	▲0.0%	1,694 (11.1%)	▲35	▲2.1%
営業利益	479 (3.1%)	815 (5.2%)	+336	+70.3%	730 (4.8%)	+85	+11.6%
経常利益	526 (3.4%)	740 (4.8%)	+214	+40.8%	660 (4.3%)	+81	+12.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	278 (1.8%)	411 (2.7%)	+133	+47.7%	380 (2.5%)	+31	+8.2%
研究開発費	30 (0.2%)	36 (0.2%)	+6	+20.9%	32 (0.2%)	+3	+11.1%
設備投資額*2	1,148 (7.5%)	491 (3.2%)	▲657	▲57.2%	690 (4.5%)	▲199	▲28.8%
減価償却費	384 (2.5%)	384 (2.5%)	▲0	▲0.1%	415 (2.7%)	▲31	▲7.5%

*1：2016.2期2Q累計は参考値

*2：設備投資額には建設仮勘定は含まない

食品関連



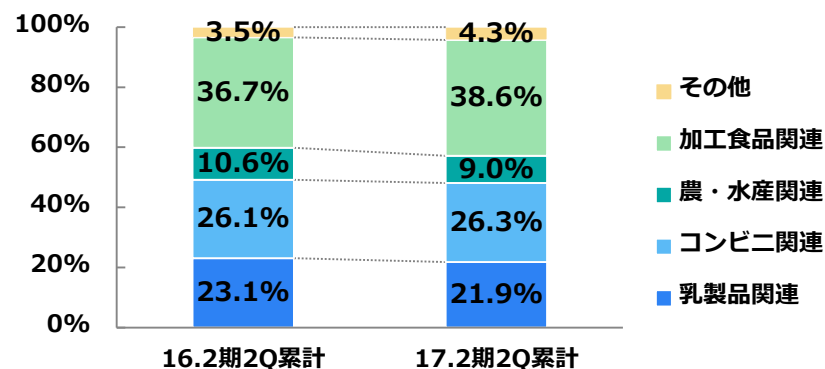
* : 2016.2期2Q累計は参考値

- 17.2期2Q累計は前年同期比増収増益
- コンビニ関連で新規アイテムの受注が進むなど、積極的な営業活動が奏功
- 生産のオーバーロスや作業効率の改善が定着、稼働率の向上も寄与し、利益率が改善

■ 主要製品別販売状況

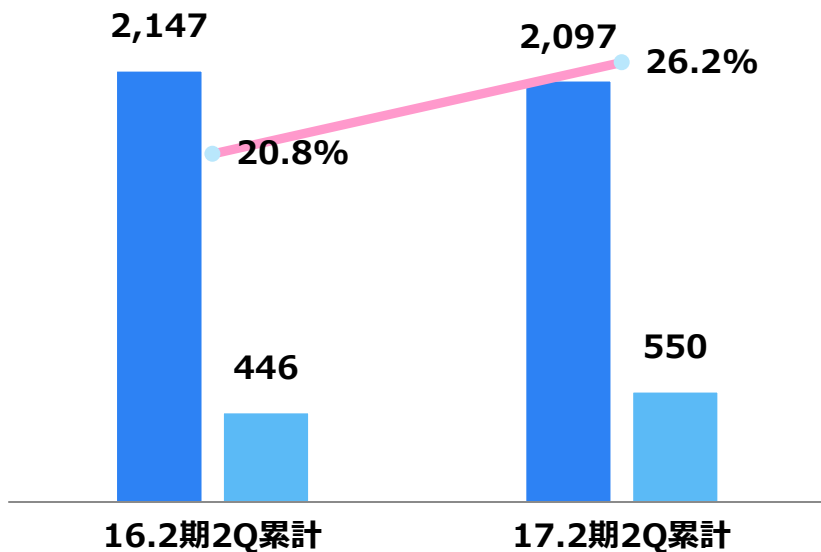
乳製品関連	<ul style="list-style-type: none"> トランス脂肪酸の報道によりマーガリン関係は苦戦が継続
コンビニ関連	<ul style="list-style-type: none"> 新規アイテム（レンジ用容器等）の受注が好調
農・水産関連	<ul style="list-style-type: none"> キウイのフードパックスの販売が低調
加工食品関連	<ul style="list-style-type: none"> 即席麺関係にNAK-A-PETの新規採用もあり好調に推移 食品成型トレー（NTS II）が好調
その他	

■ 主要製品別販売構成比（連結）



IT・工業材関連

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



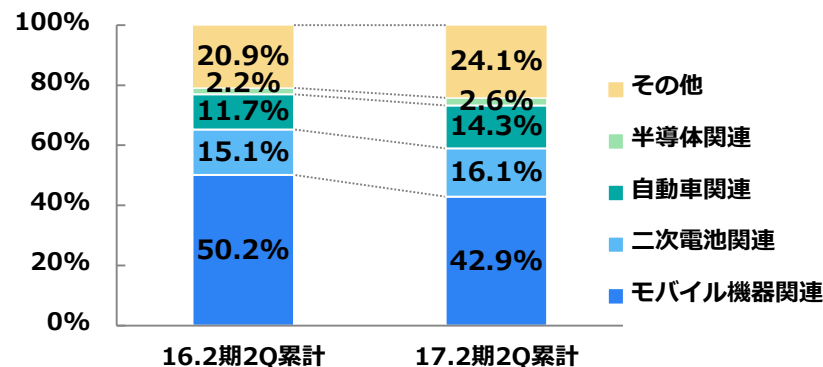
* : 2016.2期2Q累計は参考値

- 17.2期2Q累計は前年同期比減収も大幅増益
- 生産における品質管理の徹底と作業環境の見直しが奏功し、収益性が改善
- 自動車関連製品（リチウムイオン電池、内装材）の好調が続いた

■ 主要製品別販売状況

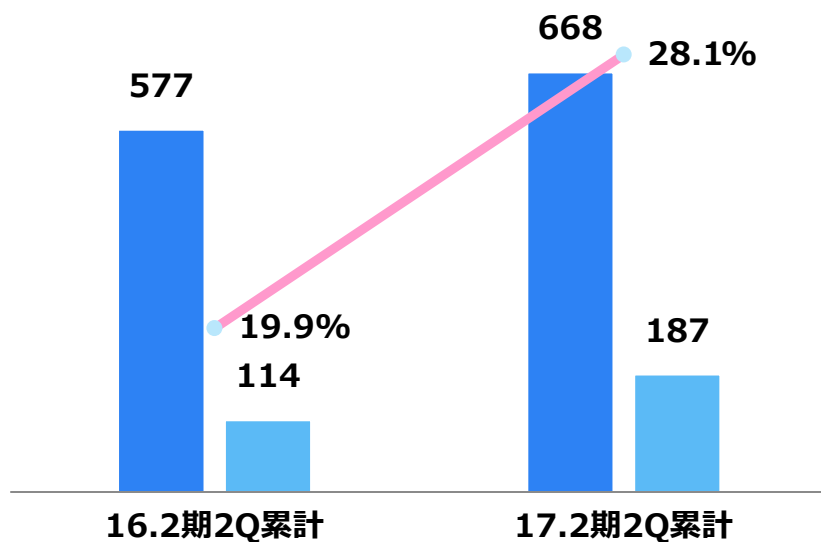
モバイル機器関連	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程に使用されるNSセパの受注は順調に推移したものの、遮光フィルムの低調が大きく影響
二次電池関連 (リチウムイオン電池)	<ul style="list-style-type: none"> 北米向け自動車用リチウム電池関連の委託加工の受注の好調持続
自動車関連	<ul style="list-style-type: none"> 北米向けの自動車内装材の受注が好調持続
半導体関連	<ul style="list-style-type: none"> セラミックコンデンサー関連の受注が増加
その他	<ul style="list-style-type: none"> 電線被覆フィルムの新規受注が貢献、導電シート等は堅調

■ 主要製品別販売構成比（連結）



医療・医薬関連

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



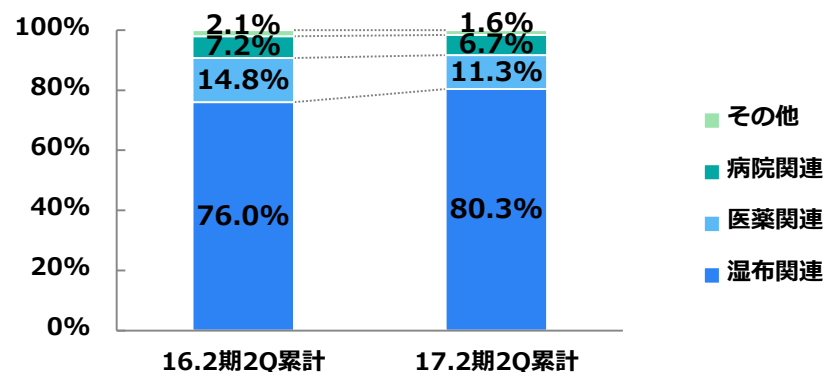
* : 2016.2期2Q累計は参考値

- 17.2期2Q累計は前年同期比増収増益
- 16年4月の薬価改定におけるメーカー在庫の影響が緩和され、一般市販薬関係のフィルム印刷が順調に推移
- 湿布用NSセパの新規案件の受注増

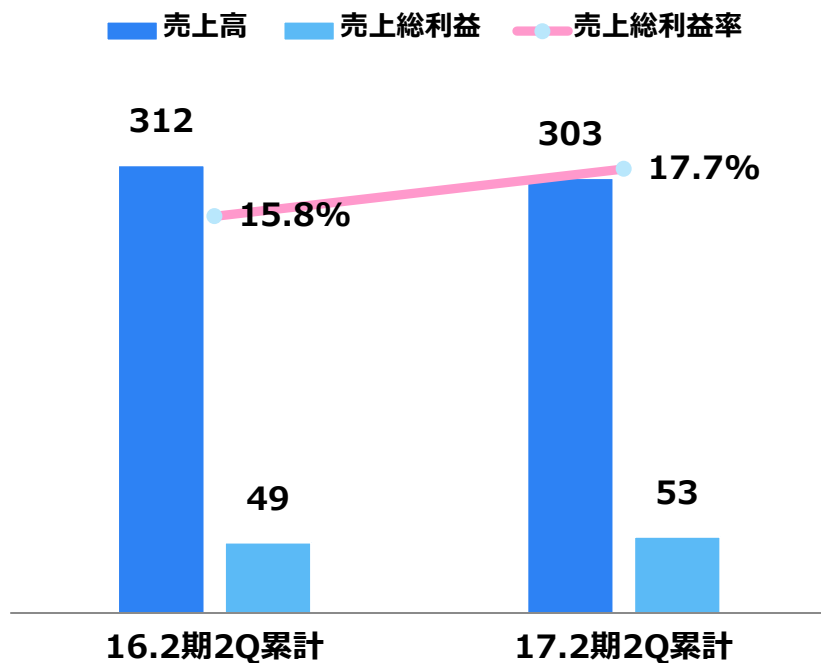
■ 主要製品別販売状況

湿布関連	<ul style="list-style-type: none"> 湿布用離型フィルム (NSセパ) の既存案件の回復及び新規案得獲得により伸長
医薬関連	<ul style="list-style-type: none"> 大手ユーザーにおけるアイテムの失注より減少
病院関連	<ul style="list-style-type: none"> 輸液バック用包材の受注が回復傾向

■ 主要製品別販売構成比 (連結)



建材関連



* : 2016.2期2Q累計は参考値

- 17.2期2Q累計は前年同期比減収増益
- 安価な海外家具向けは円高進行により低調に推移
- 集合住宅向け新規案件の受注に成功

■ 主要製品別販売状況

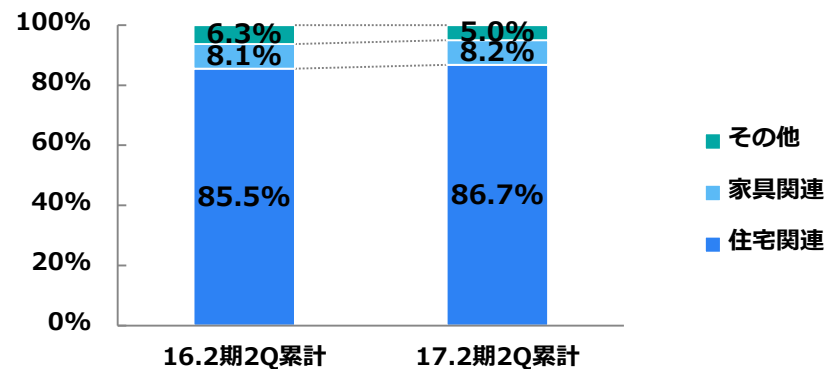
住宅関連	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅向けの新規案件の受注に成功
家具関連	<ul style="list-style-type: none"> 安価な海外家具向けは円高進行により低調に推移
その他	

■ Nコート

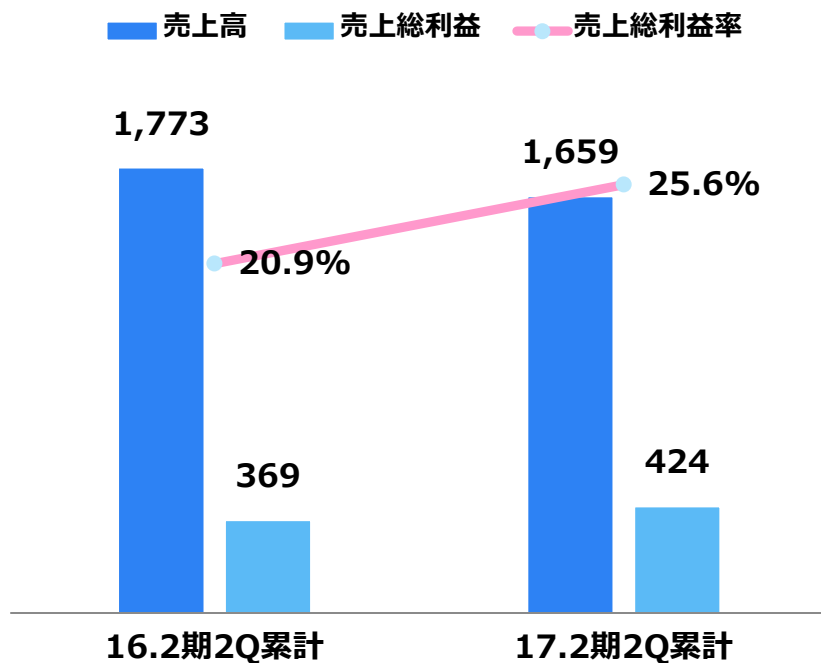
Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を生かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



■ 主要製品別販売構成比 (連結)



生活資材関連



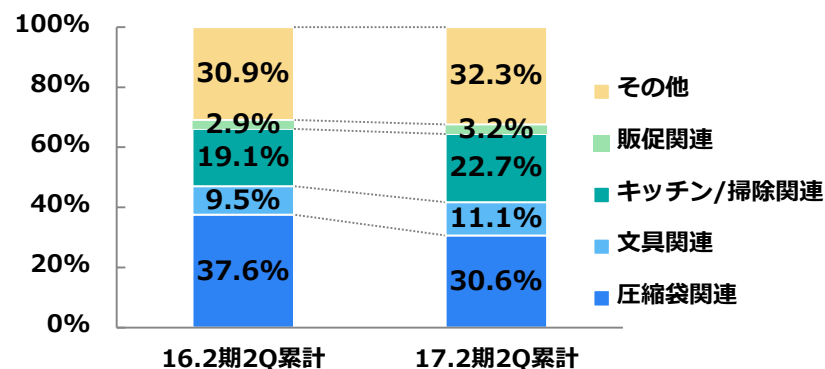
* : 2016.2期2Q累計は参考値

- 17.2期2Q累計は前年同期比減収増益
- 福島復興が進んできたこともあり、汚染枯葉圧縮袋「エコプレスパック」の需要が減少
- 高利益率のDIY商品、キッチン商品等が好調に推移し、利益率が改善

■ 主要製品別販売状況

圧縮袋関連	<ul style="list-style-type: none"> 「エコプレスパック」の需要が減少
文具関連	<ul style="list-style-type: none"> 定番商品は堅調に推移
キッチン/掃除関連	<ul style="list-style-type: none"> ネット販売は好調に推移したが、カタログ通販が苦戦
販促関係	<ul style="list-style-type: none"> ラベル（Nコート）は堅調に推移
その他	<ul style="list-style-type: none"> DIY商品、収納商品等が好調

■ 主要製品別販売構成比（連結）



(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2016.2末	2016.8末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	12,086 (51.4%)	13,242 (54.1%)	+1,156	現金及び預金 +820 受取手形及び売掛金 +148
固定資産	11,411 (48.6%)	11,246 (45.9%)	▲164	建物及び構築物（純額） ▲62 機械装置及び運搬具（純額） ▲164
資産合計	23,497 (100.0%)	24,488 (100.0%)	+991	
流動負債	10,966 (46.7%)	11,059 (45.2%)	+92	支払手形及び買掛金 ▲269 電子記録債務 +353
固定負債	3,032 (12.9%)	3,041 (12.4%)	+8	
負債合計	13,999 (59.6%)	14,100 (57.6%)	+101	
純資産合計	9,498 (40.4%)	10,388 (42.4%)	+890	資本金 +488 資本剰余金 +488
負債・純資産合計	23,497 (100.0%)	24,488 (100.0%)	+991	
ネット有利子負債	4,073 (17.3%)	3,021 (12.3%)	▲1,051	現金及び預金 +820

ネット有利子負債 = ((短期借入金 + 1年以内返済予定の長期借入金) + 長期借入金) - 現金及び預金

(連結)

(単位：百万円)

	2016.2期 2Q累計 実績	実績	2017.2期累計
			概要
営業活動によるキャッシュフロー	462	619	税金等調整前四半期純利益 +727 減価償却費 +384 運転資本の増減額 ▲409
投資活動によるキャッシュフロー	▲808	▲296	有形固定資産の取得による支出 ▲283
フリーキャッシュフロー	▲346	322	
財務活動によるキャッシュフロー	259	614	短期借入金の純増減額 ▲123 株式の発行による収入 976 配当金の支払額 ▲210
現金および現金同等物の換算差額	16	▲117	
現金および現金同等物の増減額	▲70	820	
現金および現金同等物の期首残高	2,729	2,587	
現金および現金同等物の四半期末残高	2,659	3,408	

* : 2016.2期2Q累計は参考値

2017年2月期 業績見通し

2016年7月15日に公表した計画数値を据え置き

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

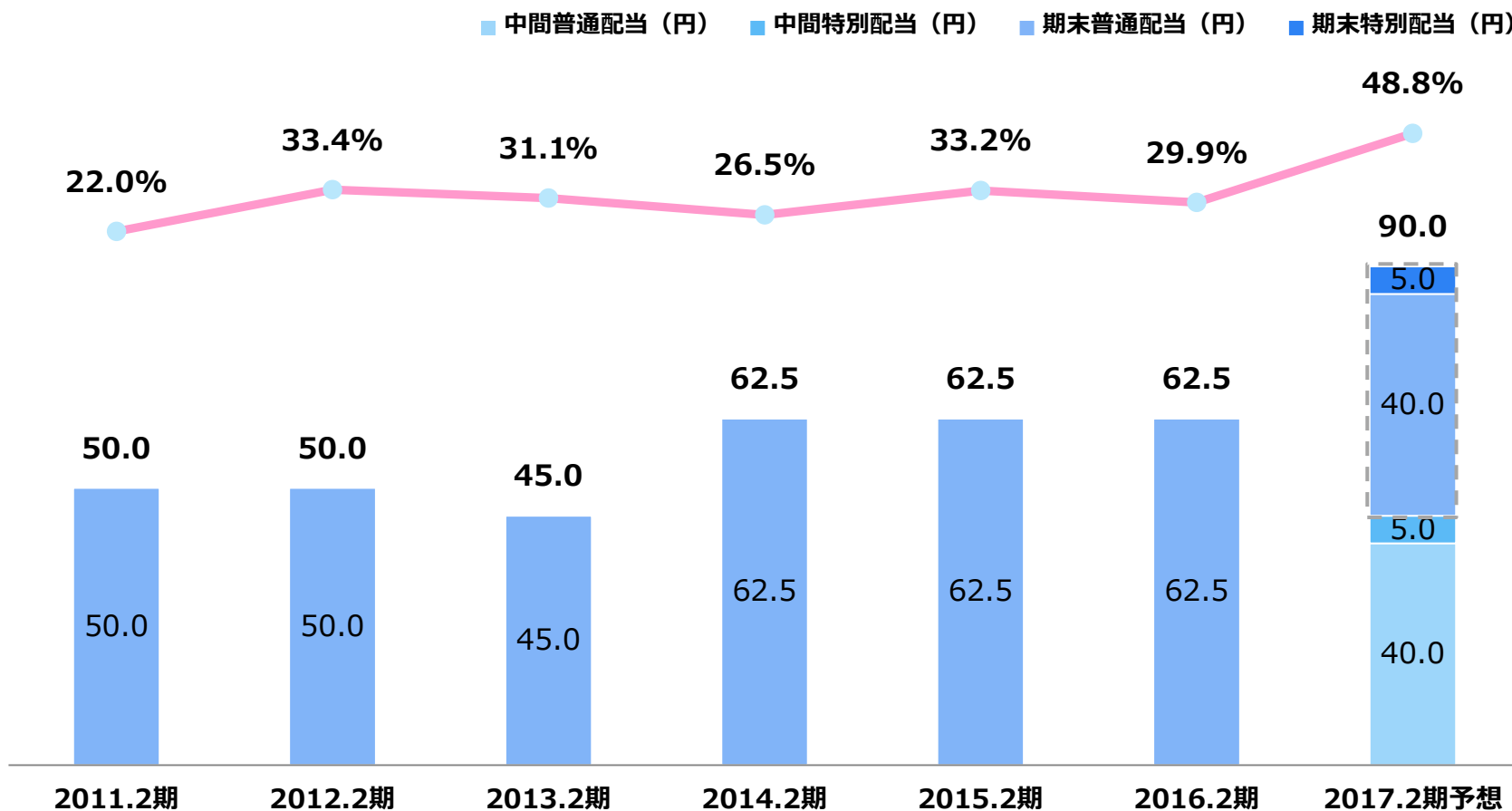
	2016.2期 実績	計画 (7/15公表)	2017.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	30,413 (100.0%)	30,700 (100.0%)	+287	+0.9%
食品関連	20,461 (67.3%)	20,593 (67.2%)	+132	+0.6%
IT・工業材関連	4,206 (13.8%)	4,187 (13.6%)	▲19	▲0.5%
医療・医薬関連	1,143 (3.8%)	1,338 (4.4%)	+195	+17.1%
建材関連	658 (2.2%)	631 (2.1%)	▲27	▲4.2%
生活資材関連	3,530 (11.6%)	3,527 (11.5%)	▲3	▲0.1%
その他	412 (1.4%)	422 (1.4%)	+10	+2.5%

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2016.2期 実績	計画 (7/15公表)	2017.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上総利益	4,327 (14.2%)	4,639 (15.1%)	+311	+7.2%
販管費	3,227 (10.6%)	3,339 (10.9%)	+111	+3.5%
営業利益	1,100 (3.6%)	1,300 (4.2%)	+200	+18.2%
経常利益	1,167 (3.8%)	1,250 (4.1%)	+83	+7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	691 (2.3%)	750 (2.4%)	+59	+8.5%
研究開発費	62 (0.2%)	83 (0.3%)	+21	+33.9%
設備投資額	1,612 (5.3%)	1,048 (3.4%)	▲564	▲35.0%
減価償却費	842 (2.8%)	856 (2.7%)	+14	+1.7%

必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続していく
2017.2期より中間配当を実施



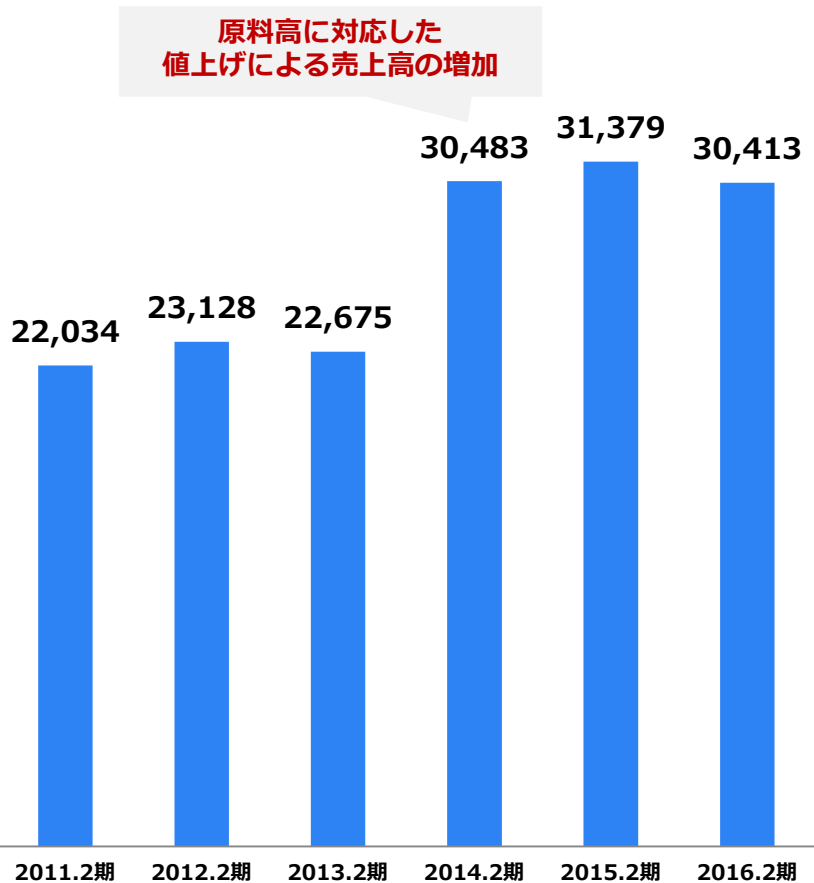
(注)2015年6月に1対200の株式分割を実施。1株当たり配当金は遡及修正値

※棒グラフの上部の数値は年間配当

ご参考

売上高推移

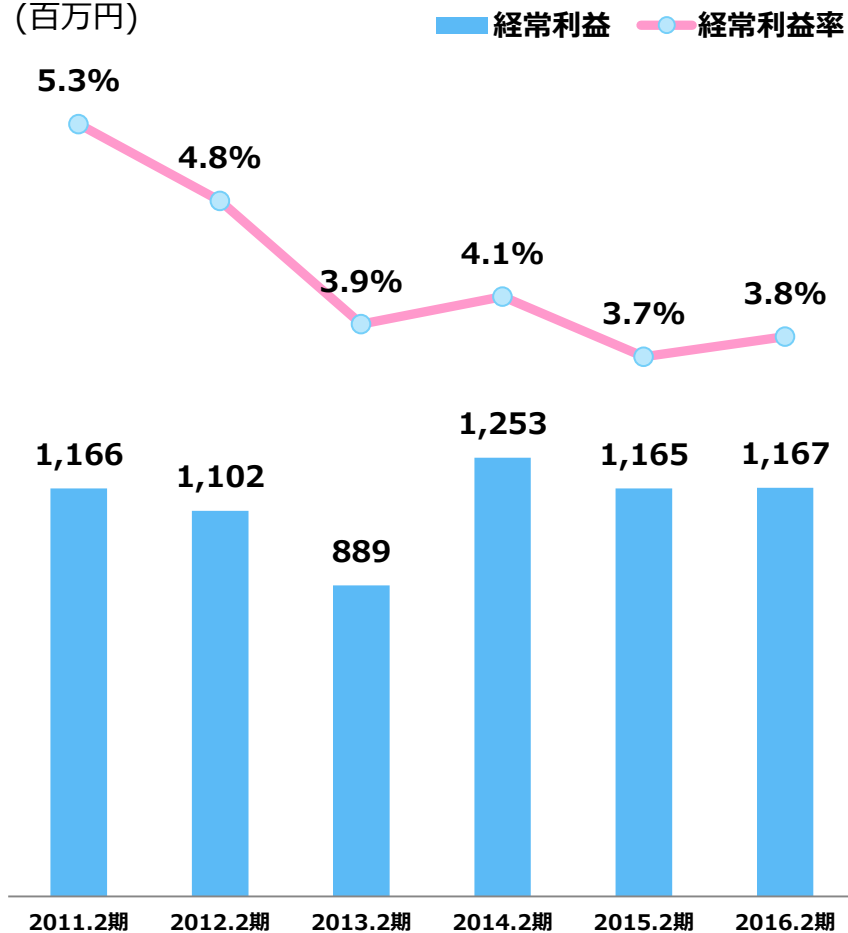
(百万円)



← 単体 → ← 連結 →

経常利益推移

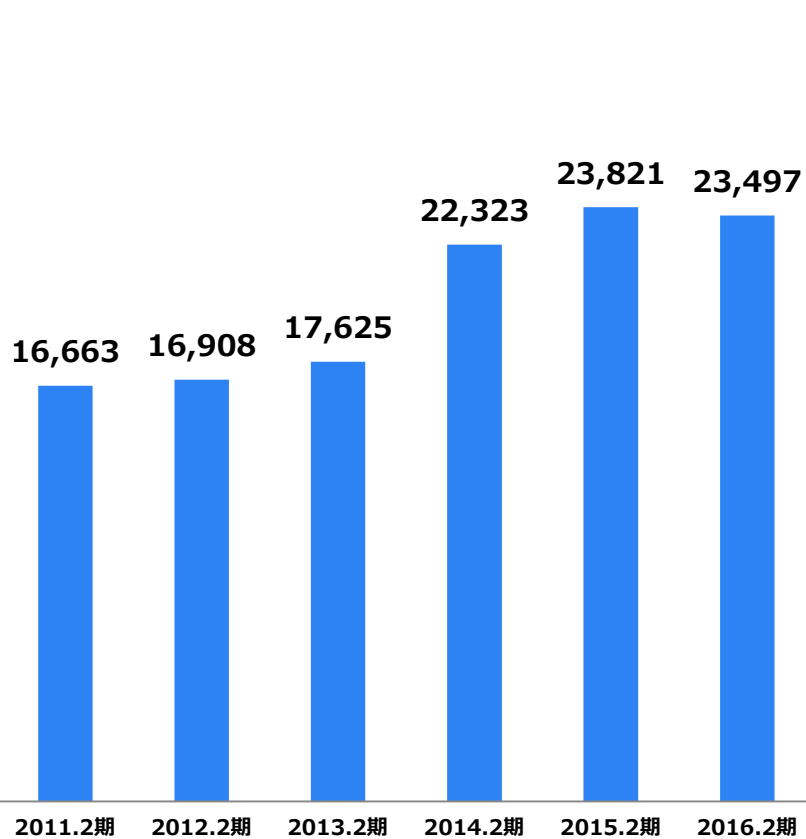
(百万円)



← 単体 → ← 連結 →

総資産推移

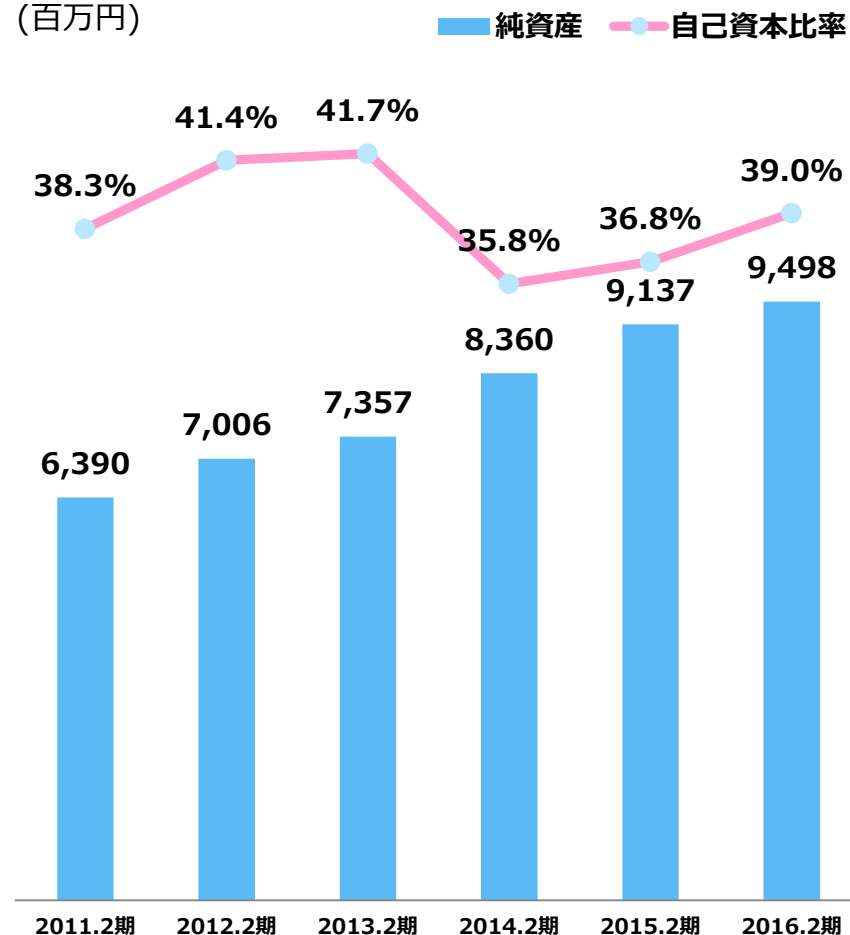
(百万円)



← 単体 → ← 連結 →

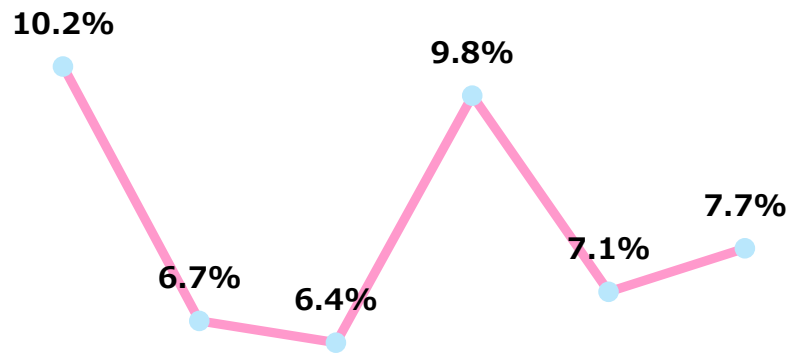
純資産推移

(百万円)



← 単体 → ← 連結 →

ROE推移



2011.2期 2012.2期 2013.2期 2014.2期 2015.2期 2016.2期

← 単体 → ← 連結 →

連結売上高経常利益率

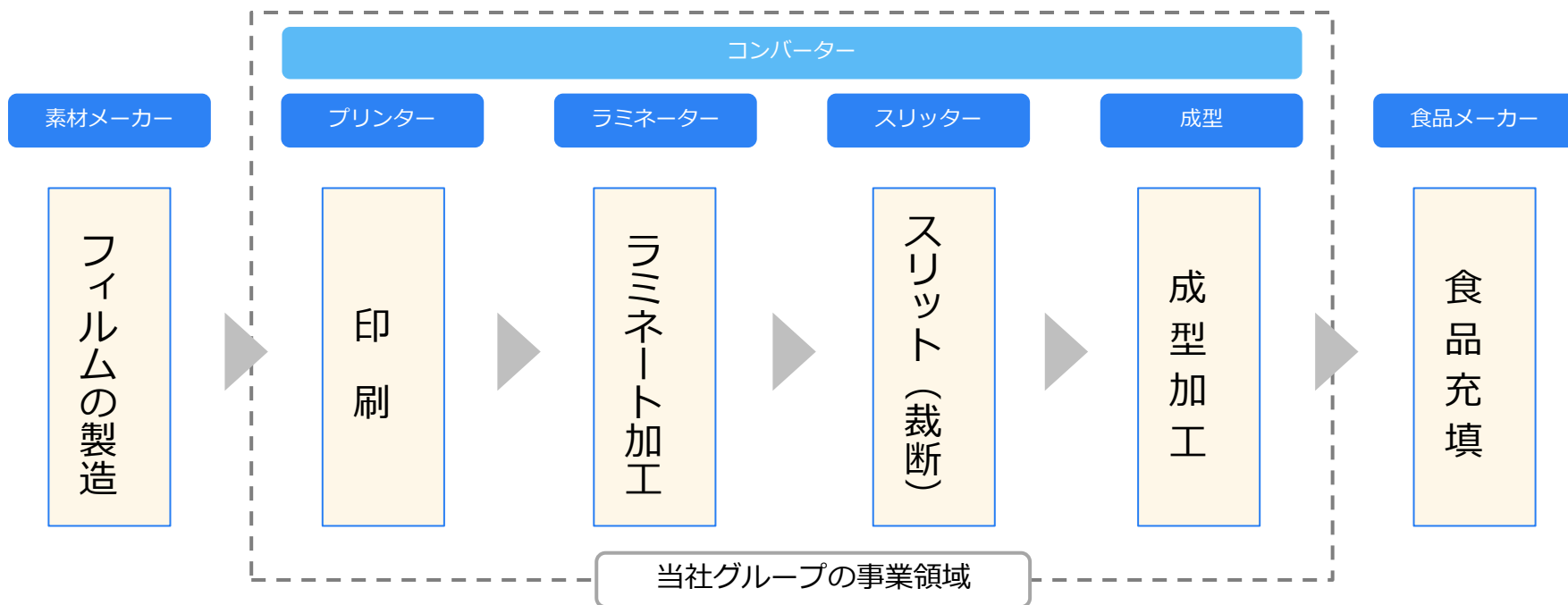
5%以上

連結ROE

(自己資本当期純利益率)

8%以上

を継続できるような企業を目指します



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷（印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷）で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工（ドライラミネート）	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること（食品用容器、トレー、蓋等）

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。

【資料に関するお問い合わせ先】

経営企画室 TEL : 06-6762-0431